

平成30年度 釜利谷高等学校入学者選抜選考基準

1 総合的選考の方法

(1) 調査書の記載事項の扱いについて

調査書における観点別学習状況の評価で、

第2学年の各教科の「関心・意欲・態度」の評価をA=10点、B=5点、C=1点とし、

第3学年の各教科の「関心・意欲・態度」の評価をA=20点、B=10点、C=2点として

点数化して合計する。(K=50点満点に換算する。)

(2) 面接の結果の扱いについて

面接について観点ごとに点数化し合計する。(M=30点満点)

面接の評価の観点
入学希望の理由
学習・生活・部活動に対する意欲
物事に対して地道に努力をする姿勢
誠実な態度

注) _____の部分は30年度入試の変更点

(3) 自己表現検査の結果の扱いについて

自己表現検査について、観点ごとに評価し点数化する。(T=20点満点)

自己表現検査の評価の観点
事前準備
取組み姿勢
理解力

注) _____の部分は30年度入試の変更点

(4) 具体的な選考の方法

次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。

$$S(100点満点) = K + M + T$$

2 特色検査(自己表現検査)の概要

面接の前に2つのテーマについてスピーチを行う。

- (1) 検査当日提示されたテーマについて、集合時間から検査開始までの30分程度で自分の考えをまとめ、2~3分のスピーチを行う。
- (2) 「中学校時代に取り組んだ部活動、学校行事等について」をテーマに2~3分のスピーチを行う。

3 事前の提出書類

面接シート。ただし、面接シートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。

注) _____の部分は30年度入試の変更点